

厚生労働科学研究費補助金

労働安全衛生総合研究事業

簡便な快適度アセスメント手法の開発に関する研究

主任研究者 城内 博

平成 15 (2003) 年 4 月

目 次

| | |
|------------------------------|---|
| I. 総括報告書 | 1 |
| 簡便な快適度アセスメント手法の開発に関する研究 | |
| 城内 博 | |
| （資料）介護労働におけるインシデント・アクシデント調査票 | 5 |

厚生労働科学研究費補助金（労働安全衛生総合研究事業）

総括研究報告書

簡便な快適度アセスメント手法の開発に関する研究

主任研究者 城内 博 日本大学教授

研究要旨

I. 総括研究報告書

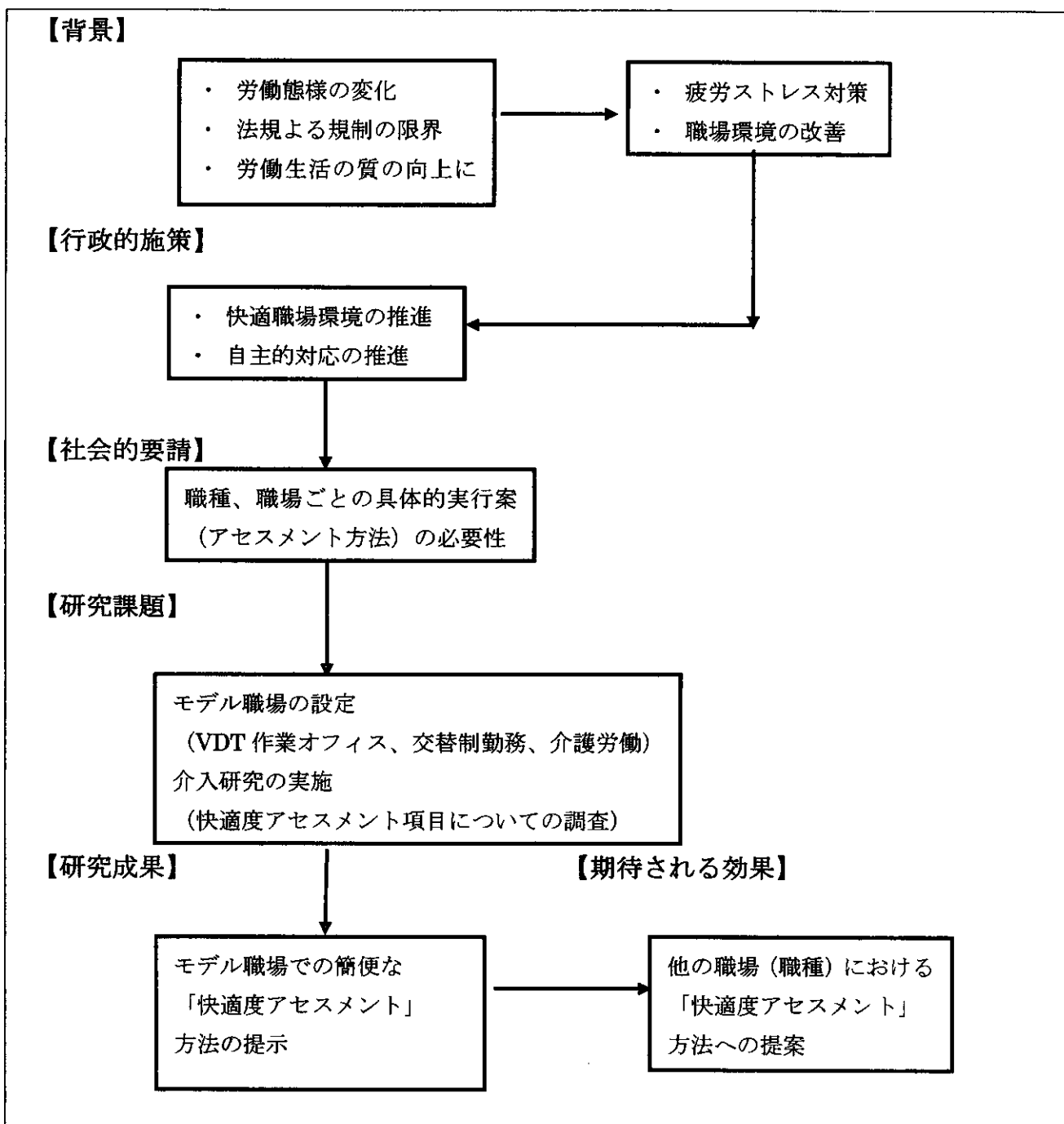
A. 研究目的

本研究の目的は簡便な「快適度アセスメント」手法の開発である。近年有害物質等による職業病は漸減してきたものの、急速な技術革新やサービスの24時間化等の進展は就業態様の変化をもたらし、疲労やストレスの問題を生じさせた。これに対応すべく平成4年には労働省から告示「事業者が講ずべき快適な職場環境形成のための措置に関する指針」が出され、事務所の喫煙対策などは大きく前進した。しかし他の多くの問題については、企業規模あるいは職種により「快適」の基準が大きく異なるため、大きく前進しているとは言い難い状況にある。また、従来労働衛生管理は、作業環境管理、作業管理、健康管理の3本柱で行われてきた。しかし作業管理については法規制の根拠が弱く、さらに業種や職種間での相違が大きいためその対策が他の二つの管理に比べて大きく遅れてきたことは否めない。このような状況で平成11年には労働省から告示「労働安全衛生マネジメントシステムに関する指針」が出され、事業場における自主的な安全衛生活動の推進が期待されている。これらのことは労働衛生が、より包括的に、より個々の作業者に配慮したものに転換しようとしていることを意味し、これはまさに人間工学的な視点が要求されており、その実行が行政的にも望まれているものと考えられる。

そこで本研究では、人間工学的な視点から職場の快適度を簡便に評価し、環境や作業の改善に結び付けられるような「快適度アセスメント」の開発を目指す。このため特に、VDT作業が主体となっているオフィス、サービスの24時間化が進み交替制勤務を行っている職場、介護など高齢化社会への対応が期待されている職場を対象として介入研究、また必要に応じて実験室での研究を行う。これらの職場では、VDT作業による疲労、交替制勤務における問題、腰痛など旧態依然とした問題が解決されないままに、さらに新しい問題が起きている。これらの職場で起きている問題に対して取り組み解決方法を示すことは、他の職場で起きている問題への取り組みの方途を示し、自主的な対応を促進し、行政的にカバーしきれない部分を補完する意味を持つものと確信する。リスクアセスメントではなく、あえて快適度アセスメントとしたのは、前向きに取り組む姿勢を喚起するためと、ここで

取り上げられる問題は日々の労働に起因するストレスや疲労の蓄積によるおこるものであり日々の観察が重要であることを協調したいがためである。すなわち重篤な響きのあるリスクアセスメントでは、これらの問題は見過ごされる可能性が大であると考えたからで

ある。

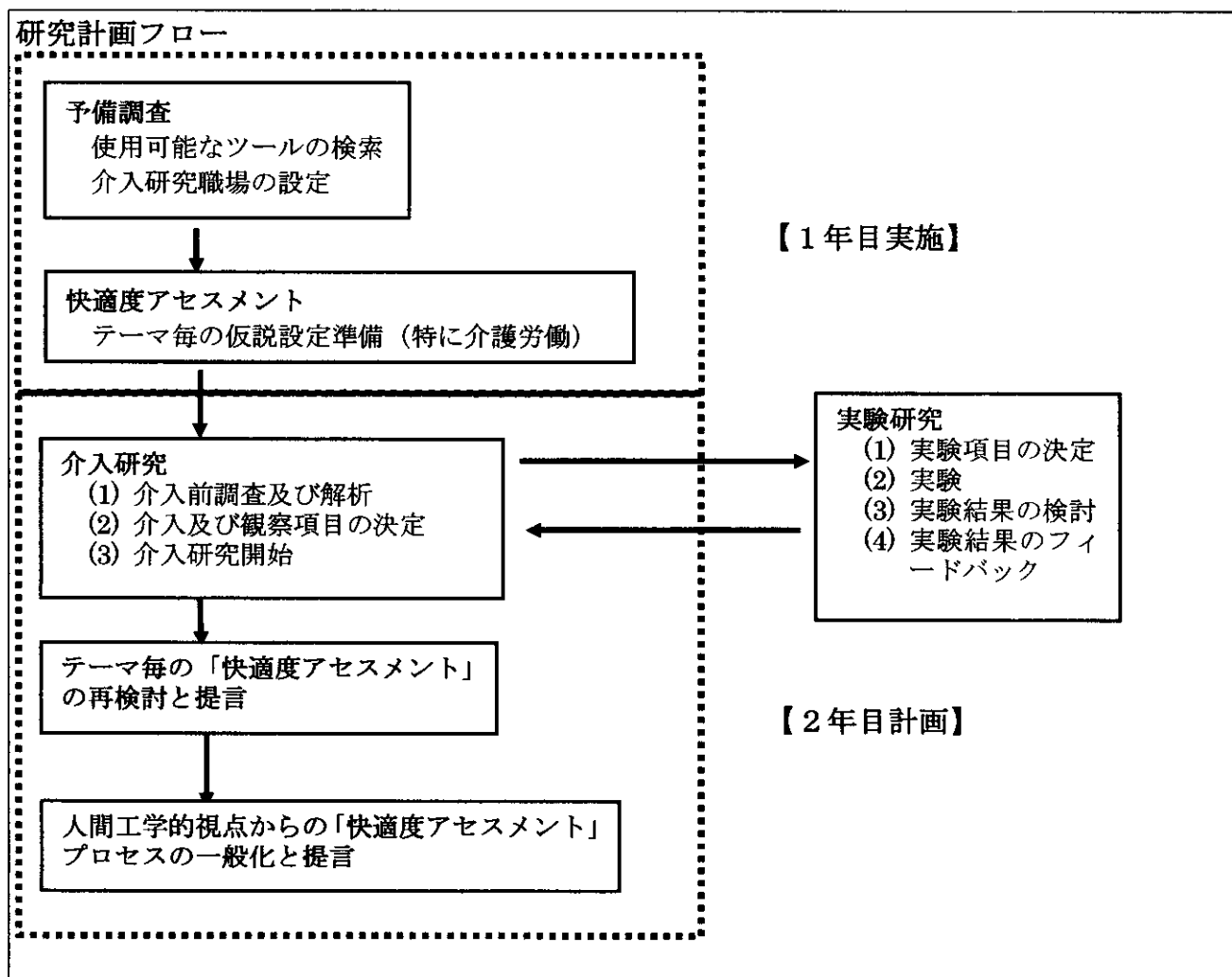


B. 研究方法

本研究では、まず介護労働、交替制勤務、VDT作業オフィスなどをモデルに、快適度アセスメント項目の候補について検討を行う。これは、既存の関連した研究の成果を活用したり、あるいはあらたに質問票を作成・配布・回収して解析を行うなどして、項目の選定

を行う。つぎにこれら項目のうち快適作業に重要と思われるものについては、介入研究や実験研究などを行い、その成果を快適度アセスメントにフィードバックする。

今年度は補助金の交付が大幅に遅れた(2月初旬)ため研究への着手も遅れた。そこで本年度の調査研究は介護労働の快適度評価に的を絞り開始した。介護労働においては、従来は要介護者の移動のために腰痛が問題になってきた。しかし、腰痛の他にも入浴介助による高温多湿環境下での介助作業や、夜間の介護労働による疲労や循環器系への影響も考えられることから、様々な介護労働についての身体的負担を整理検討する必要がある。さらに、要介護者と の人間関係など、精神的な面での負担も大きいことが問題となってきている。特に介護労働では、介護者の精神的な余裕が介護の態度にも影響し、介護の質的な面に影響を及ぼすことから、介護労働者の快適度を評価することにより良い介護労働環境を実現することが不可欠である。このような視点から、研究調査ではまず介護者の労働条件を把握するために質問票を作成しこれを配布、回収し解析し問題点の洗い出しを行い、さらに介入研究をおこなう予定である。



倫理面への配慮

人を対象としてデータを取る場合には、各研究機関の倫理委員会等の承認を得た上で行う。被験者実験は、必ずインフォームドコンセントを得て行い、これを文書で保存する。

C. 研究結果

介護労働に関する質問票調査は現在約 3,000 部配布中で、回収待ちの状態である。

さらに、VDT 作業および重量物取り扱い作業についても調査研究の準備を進めており、これまでに予備の聞き取り調査や実験に必要な機器の購入などを行った。

D. 考察

(来年度まとめて行う。)

E. 結論

(結果が得られていないのでなし。来年度まとめて行う。)

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産権の出願・登録状況

なし

II. 研究成果の刊行に関する一覧表

なし

III. 研究成果の刊行物・印刷

なし

提出日 年 月 日

□ インシデント □ アクシデント報告書

▼報告者データ（該当個所の□に赤字でレを記入してください）

| | |
|---------|---|
| 報告者(職種) | <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input type="checkbox"/> その他 () |
| 報告者(氏名) | 記載不要 |
| 経験年数 | 年目 |

▼対象者データ

| | |
|----------|--|
| 性別 | <input type="checkbox"/> 男 <input type="checkbox"/> 女 |
| 年齢 | 歳 |
| 区分 | <input type="checkbox"/> 利用者 <input type="checkbox"/> 利用者家族 <input type="checkbox"/> ホームヘルパー <input type="checkbox"/> 訪問者 <input type="checkbox"/> その他 () |
| 利用者の要介護度 | <input type="checkbox"/> 自立 <input type="checkbox"/> 要支援 <input type="checkbox"/> 要介護度1 <input type="checkbox"/> 要介護度2 <input type="checkbox"/> 要介護度3 <input type="checkbox"/> 要介護度4 <input type="checkbox"/> 要介護度5 |
| 痴呆の有無 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり (→ レベル I・II・III・IV・M) |
| サービス内容 | <input type="checkbox"/> 家事援助 <input type="checkbox"/> 身体介護 <input type="checkbox"/> 複合 |

▼問題発生前の状況

| | |
|--------|--|
| 意識レベル | <input type="checkbox"/> 清明 <input type="checkbox"/> 混乱、見当識障害 <input type="checkbox"/> 非協力的 <input type="checkbox"/> 意識不明 <input type="checkbox"/> 薬剤 () |
| 歩行 | <input type="checkbox"/> 独歩 <input type="checkbox"/> 介助 <input type="checkbox"/> 監視 <input type="checkbox"/> ベッド上安静 <input type="checkbox"/> 絶対安静 <input type="checkbox"/> その他 |
| ベッド利用 | <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| ベッド柵 | <input type="checkbox"/> あり (◇上がっている ◇半柵 ◇下げている) <input type="checkbox"/> なし |
| ベッドの高さ | <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 不適切 () |
| 車椅子利用 | <input type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし |
| 医学的管理 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり→ (◇点滴ルート ◇尿路カテーテル留置 ◇人工呼吸器 ◇その他 ()) |
| 抑制 | <input type="checkbox"/> なし <input type="checkbox"/> あり 部位 () |

▼事故の発生データ

| | |
|-------|---|
| 発生時間帯 | <input type="checkbox"/> 平日 (午前・午後・深夜) <input type="checkbox"/> 休日 (午前・午後・深夜) |
| 発生場所 | <input type="checkbox"/> 利用者宅 (→ 浴室・トイレ・廊下・その他 ()) <input type="checkbox"/> 移動時 <input type="checkbox"/> その他 () |

▼事故の種類と内容

| | |
|--------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 食事 | <input type="checkbox"/> 買い物の誤り <input type="checkbox"/> 調理方法の誤り <input type="checkbox"/> 味付けの誤り <input type="checkbox"/> その他 () |
| <input type="checkbox"/> 誤嚥・誤飲 | <input type="checkbox"/> 食事介助方法の誤り <input type="checkbox"/> 見守りの不足 <input type="checkbox"/> 調理方法の誤り |

| | |
|---------------|--|
| | □その他 () |
| □転倒・転落 | □介護方法の誤り □車椅子・ベッド等の機器操作の誤り □見守りの不足 □その他 () |
| □熱傷・火傷 | 部位 () 原因 () |
| □入浴 | □溺水 □気分不良 □その他 () |
| □排泄 | □オムツからの漏れ □介助方法の誤り □見守りの不足 □その他 () |
| □利用者宅の物品の破損 | □食生活用品・機器の破損(茶碗・鍋・ポットなど) □住宅関連用品 □家電製品 □装飾品 □医療・介護機器 □介護用品 □利用者の衣類 □その他 () |
| □利用者または家族との問題 | □自殺 □暴力 □不在 □介護拒否 □盗難 □その他 () |
| □接遇 | □態度、言葉遣い □説明不足 □その他 () |
| □移動中の事故 | □交通事故 □交通違反 □その他 () |
| □医療行為 | □服薬介助の誤り □外用薬の誤り □爪切りの誤り □その他 () |
| □その他 | □ 内 容 () |

▼利用者への影響と対処

| | |
|--------|--|
| 患者への影響 | □0実施される前気づいた □1実害はなかった □2観察や検査が必要であった □3治療が必要になった □4障害が一生続く □5死因となった |
| 診察 | □なし □あり (主治医 ・ その他の医療機関) 診察所意見 |
| 処置 | □ な し □ あ り (内 容 :) |

▼事故の詳細 (事実だけを書いてください。感想、憶測、反省は書かない)

| | | | |
|--------|--------------|---------|--------------|
| 事故発生日時 | 平成 年 月 日 時 分 | 医師に報告 | 平成 年 月 日 時 分 |
| 事故発見日時 | 平成 年 月 日 時 分 | 上司に報告 | 平成 年 月 日 時 分 |
| どこで | | どうしていた時 | |

| | |
|---|--|
| 体験した状況の 多忙度 | <input type="checkbox"/> 非常に多忙 <input type="checkbox"/> 多忙 <input type="checkbox"/> 普通 <input type="checkbox"/> やや余裕がある <input type="checkbox"/> 余裕がある |
| ひやりとした 時、アクシデン トのあらまし (発生状況、利 用者への対応な ど) | |

(このような問題があった)

| | | | |
|-----------------------------------|--|-----------------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> 作業方法に問題が | <input type="checkbox"/> 働いている現場環 境に問題が | <input type="checkbox"/> 設備機器に問題が | <input type="checkbox"/> あなた自身の問題 が |
|-----------------------------------|--|-----------------------------------|--|

| | | |
|---------|--|----------------------|
| | (心理状態) | |
| こうしてほしい | 1. よく見えなかつた 聞こえなかつた 2. 気がつかなかつた | 該当する項目があったら○をつけてください |
| 私はこうしたい | 4. 知らなかつた 5. 深く考えなかつた 6. 大丈夫だと思つた | |
| 上司のコメント | 7. あわてていた 8. 不愉快なことがあつた 9. 疲れていた | |
| | 10. 無意識に手が動いた 11. やりにくかつた (むずかしかつた) 12. からだのバランスを くずした | |